

SDG4.7Meeting SDGs × 教育への問い

教育をどう変えるのか？ 私たちはどう変わるのか？

認定NPO法人開発教育協会（DEAR）

事務局長 中村絵乃

enakamura@dear.or.jp



認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)

www.dear.or.jp

- ・知り・考え・行動する **“地球市民”** を育むNGO
- ・開発教育の普及推進に関心を持つ個人、団体のネットワーク
- ・1982年から37年間、全国の会員と活動を行う
- ・教育を通して**持続可能な社会の実現**を目指す



「我々の世界を**変革**する：持続可能な開発のための
の2030アジェンダ」 第70回国連総会にて採択

持続可能な開発目標（SDGs）

目標4 「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い
教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」

ターゲット4.7

- 2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、**グローバル・シティズンシップ**、文化の多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、**すべての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。**

我々の世界を**変革**する

持続可能な開発のための2030アジェンダ

改革 (Reform) = 制度などの一部を変え改めること



変革 (Transformation) = 変えて新しいものにする事、
変わって新しいものになること

なぜ？

今日の世界

今日の世界(14)

目指すべき世界像(8. 9)

貧困、不平等、機会・富・権力の不均衡、ジェンダー不平等、失業、自然災害、紛争、暴力的過激主義、天然資源の減少、砂漠化、かんばつ、気候変動

なぜ？いつから？
責任の所在は？私
たちの暮らしと関係し
ている？困ってい
る人は？国内にも
ある？

現在の経済・社会・政治
の構造やしきみ、枠組み、
ライフスタイル全てを疑っ
てみる、見直す

人権の尊重、多様性の尊重、平等、
ジェンダー平等、暴力からの解放、
社会的障害、経済的障害の排除、公
正、衡正、寛容、包摂性、持続可能、
人間らしさ、生物多様性、強靱さ、
調和、民主主義、働きがい、環境保
、貧困・飢餓撲滅

SDG4.7を考える3つの問い

1. 何のための教育？

2. 誰のための教育？

3. システムをどう変える？

1. 何のための教育？

- 「持続可能な社会の創り手となること」(小中学校新学習指導要領 前文、第一章総則)
- 「持続可能な社会」とは？
 - 持続可能な成長？ 誰にとって持続可能？
- 創り手とは？
 - グローバル人材？ 社会を創るって？

2. 誰のための教育？

取り残されているのは？

- 外国ルーツのこどもたち
- 不登校、いじめの問題
- 教育格差の問題・子どもの貧困
- 障害をもつ子どもたち
- **誰もが、一生学び続けられる場があるか？**

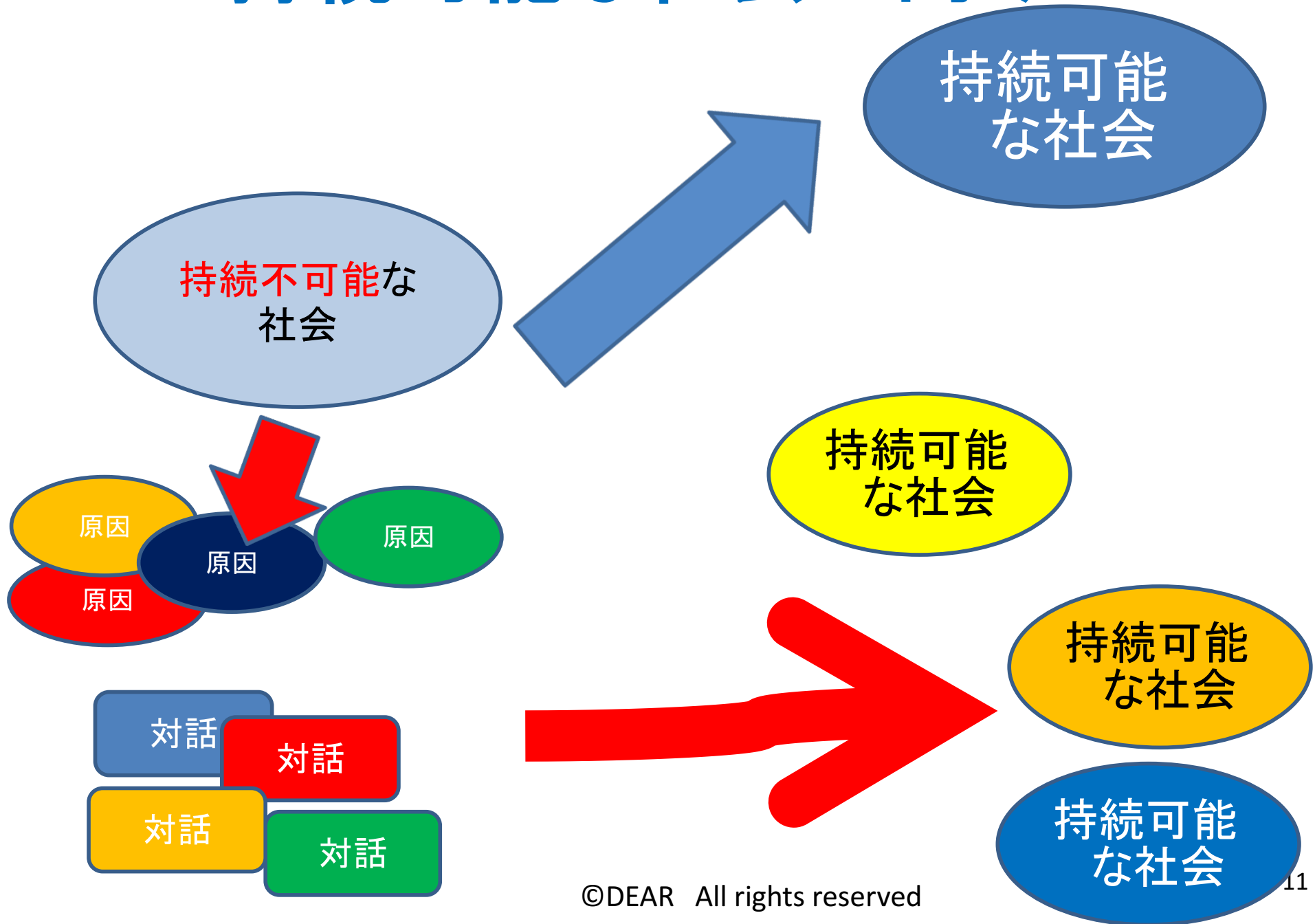
3. システムをどう変える？

- 教育のシステム(制度や構造)を問わずして、SDG4.7の推進ができるのか？
- 学力とは何か？
- 学校とは何か？
- 教育システム自体を問い直す必要性

私たちはどう変わるのか？

- 今までの活動をどう振り返るのか
- 子どもたちの現状から何を学ぶのか
- 持続不可能な社会の現状から何を学ぶのか
- 「普段通り」「当たり前」からどう抜け出すのか

持続可能な社会に向けて



SDG4.7とは

教育を変え、私たちが変わるための、
振り返り・問い・挑戦 である。

子どもも、大人も、みんなで問いを立てて考えることが必要

持続可能な社会の実現のために、 振り返り、考え、変わること



認定NPO法人開発教育協会/DEAR

<http://www.dear.or.jp>

